解答らん

1

(1)	230	(2)	1	(3)	40 (cm)	(4)	28 (枚)
(5)	45	(6)	61 (度)	(7)	(正) 十(10) (角形)	(8)	28 (通り)

2

(1)	20 %	(2)	12 %

3

(1)	10 人	(2)	41 人

4

(1)	32 cm^2	(2)	8 cm^3

5

(1)	160 度	(2)	95 度

6

（解き方）

解説参照

(1)	36 個
(2)	25 列

7

（解き方）

解説参照

(1)	毎分 56 m
(2)	毎分 70 m

（配点）

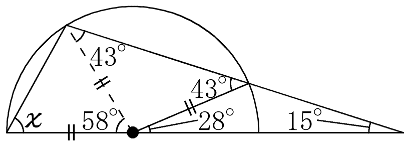
各５点×20

1(3) 20dL：0.03kL＝２Ｌ：30Ｌ＝１：15
６ｍ＝600㎝　　$600\times\frac{1}{15}=40$(㎝)

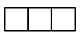
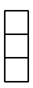
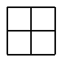
(4) $(9+6)\div(1-\frac{1}{4})=20$(枚)…弟が食べる直前
$(20+1)\div(1-\frac{1}{4})=28$(枚)…最初

(5) ㋐ 小さい方から１，２，５のとき
ＬＣＭ(２，５)＝10より，10の倍数で，かつ２または３で割り切れない数をかける。 → 10，50，70，…
㋑ 小さい方から１，３，５のとき
ＬＣＭ(３，５)＝15より，15の倍数で，かつ２で割り切れない数をかける。 → 15，45，75，…
よって，小さい方から３番目は45。

(6) 15＋28＝43(度)
15＋43＝58(度)
(180－58)÷２＝61(度)



(7) (360－40－32)÷２＝144(度)…正多角形の１つの内角
180－144＝36(度)…正多角形の１つの外角
360÷36＝10 → 正十角形

(8) の形は６通り。の形は４通り。Ｌ字型の形はから１枚除くと考えて，６×４＝24(通り)ある。
そのうち，②⑥⑩，③⑦⑪，②⑤⑥，⑤⑥⑩，③⑦⑧，⑦⑧⑪の６通りは紙が２枚に分かれるのでおかしい。
よって，６＋４＋24－６＝28(通り)

2(1) 40＋10＝50(ｇ)…食塩水の重さ　　10÷50＝0.2 → 20%

(2) 50＋200＝250(ｇ)…食塩水の重さ　　10%＝0.1
200×0.1＝20(ｇ)　　10＋20＝30(ｇ)…食塩の重さ
30÷250＝0.12 → 12%

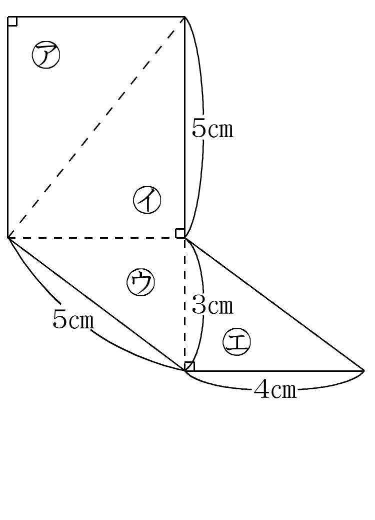
3(1) ㋐＋㋑＝24(人)
㋐＋㋒＝14(人)
よって，㋑と㋒の差は，24－14＝10(人)

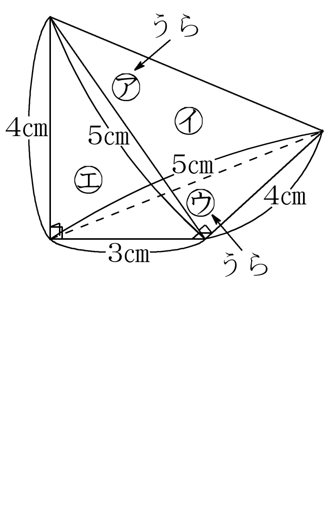
	めがね○	めがね×	合計
男子	㋐	㋑	24人
女子	㋒	12人	
合計	14人		

(2) 10÷(３－１)＝５(人)…㋒　　24＋５＋12＝41(人)

4(1) ３×４÷２＝６(㎠)　　４×５÷２＝10(㎠)
(６＋10)×２＝32(㎠)

(2) 下の図のようになる。　　$6\times4\times\frac{1}{3}=8$(㎤)

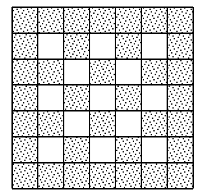




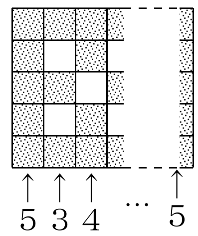
5(1) 長針は１分間に６度，短針は１分間に0.5度，１時間に30度進む。
30×２＝60(度)…２時０分に２針がなす角
(６－0.5)×40－60＝160(度)

(2) 図１の長針と，図２の短針にはさまれる部分。
時計のま上(12の場所)から，何度進んでいるかで考える。
図１の長針…６×40＝240(度)
図２の短針…30×４＋0.5×50＝145(度)
よって，240－145＝95(度)

6(1) ７×７＝49(個)
右の図から考えて，
３＋２＋３＋２＋３＝13(個)
取りのぞくことができる。
よって，49－13＝36(個)

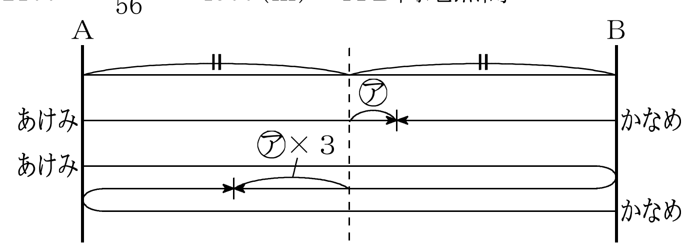


(2) 左はし，右はしの２列では，小さい正方形を必ず５個ずつ使う。また，と中の列では，小さい正方形を３個，４個，３個，４個，…と使うことになる。
90－５×２＝80(個)
80÷(３＋４)＝11(セット)あまり３(個)
３個は１列になる。
よって，２＋２×11＋１＝25(列)



7(1) 300＋1800＝2100(ｍ)…ＣＢ間　　2100：1800＝７：６
→ ２人が出会うまでにかかる時間の比は７：６
→ ２人の速さの和は６：７
84－64＝20(ｍ/分)…２人の歩く速さの差
$20\times\frac{6}{7-6}-64=56$(ｍ/分)

(2) $2100\times\frac{56+64}{56}=4500$(ｍ)…ＡＢ両地点間



１㎞＝1000ｍ　　4500÷２＝2250(ｍ)
上の図で，１回目に出会うまでにあけみさんが歩いたきょりは全体のきょりの半分(2250ｍ)より大きく，その分のずれを㋐とすると，２人の歩くきょりの和が３倍になる反対側のずれは㋐のちょうど３倍になるので，
㋐＝1000÷(１＋３)＝250(ｍ)となる。
(2250＋250)：(2250－250)＝５：４
$56\times\frac{5}{4}=70$(ｍ/分)

(配点)各５点×20